

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10588001				
授業名	世界動向と国際貢献 A	形態	講義	単位	2
担当教員	郷掘 ヨゼフ、松尾 加奈				
開講学期	2017年度 前学期	曜日・時限	水曜4限		
授業目的	今日の世界が抱えているさまざまな国際的な問題（戦争、テロ、貧困、環境問題など）について、なぜ福祉・看護・栄養を専攻する学生が学ぶ必要があるのだろうか。本授業では、「私」の世界は「個」の世界だけではなく、国を超えて様々な関係性が紡がれている中で成り立っていることを出発点とする。「共生」を土台に置きながら、世界各地の事例を取り上げ、その背景や原因、解決策について一緒に考えることを目的とする。				
授業内容	本授業では、世界各地の貧困、環境問題や戦争などの事例を、新聞記事、ルポ、映像、ドキュメンタリー映画などの資料を用いながら、生活者の目線から取り上げる。各授業において学習者自身の視点で各問題・各課題の背景や原因、解決策について考え、グループディスカッション、グループプレゼンテーションを通して理解・議論を深めていく。				
到達目標	今日の世界が抱えている諸問題を知り、その原因や関連する事柄について基礎的な知識を得たうえで、これらに対して学習者自身の考え方をまとめて他者と共有できること、取り上げられる諸課題と学習者自身との関係・日本との関係について考察し、国を超えての「共生」について考えるようになることを到達目標とする。				
ディプロマポリシーとの関連性	本科目では、世界各地の事例を取り上げ、世界に目線を送りながら、国際関係、国際事情に関する知識を得、これらを用いて考察する力を育む。また、自分の文化と他者の文化、自分の立場と他者の立場といった多文化、並びに文化相対主義の視座に立ち、「共生」について考えることを軸としている。 また、授業で取り上げられた事例の中で、何が原因か、何が問題かを発見し、その対策や解決策を探る考察力も育まれる。 <DP1-(4)>				
授業形態	授業テーマ（諸外国の問題や課題）を取り上げる際の問題提起及び資料提示は講義形式で進めるが、各テーマに関して、アクティブラーニングの手法を用いて、グループディスカッション、グループワーク、グループプレゼンテーションを行う。学習者が自主的に考え、授業へ積極的に参加する形を目指し、共に授業を展開していく。				
事前・事後学習の所要時間	本科目を受講する際に、事前・事後学習の所要時間は合わせて約60時間となる。				
テキスト	教科書や特定のテキストを指定しない。参考資料、その他の資料は適宜提示する。毎回、レジメを配布し、パワーポイントなどの資料を提示する。学習者は、授業内容をノートとしてまとめ、授業で紹介された参考文献やその他の学習資料を読み、理解を深めていく学習を目指したい。 授業内容に関連するわかりやすく、基礎的なテキストとして、下記のものを提示する。 ・ 下村恭民、他『新版 国際協力：その新しい潮流』有斐閣 ・ 藤原帰一、他『平和構築・入門』有非閣				
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本授業の評価は下記の3つの観点から行う。 ・ 授業参加態度（挙手による発言、グループワークなどにおける態度） ・ リアクションペーパー（授業課題毎に小レポートを提出） ・ 終講レポート 				
評価基準	授業参加態度：20点、リアクションペーパー：30点、終講レポート：50点 合計100点満点				
試験・レポート等のフィードバック	小レポートの内容を踏まえ、授業でフィードバックを行う。学習者の意見・指摘・気づきを取り上げ、授業内で議論を繰り広げる。また、小レポート・レポートにコメント等を添えて、フィードバックを行う。レポートのみならず、授業内容、授業運営に関する相談時間を設け、対応する。				
注意事項及び履修条件	本授業では相手の意見を尊重し、誰しものが議論に参加できる環境・雰囲気を保ちながら展開していく。そのため、相手・他地域・外国・異文化などの「他者」を軽視しないこと、排他的、あるいは差別的な発言をしないこと、それぞれの文化の優劣を論じないことを授業の約束事とする。				
S：100～90、A：89～80、B：79～70、C：69～60、D：60未満					
第1回					
事前学習	シラバスを読み、授業内容、成績評価の方法などを確認する。(1時間)				

授業内容	(担当:郷堀・松尾) 授業のガイダンス ①授業目標と授業内容の確認 ②成績評価の方法の確認 ③受講に当たっての注意事項の伝達
事後学習	授業内で提示された用語の中で、意味や内容がわからなかったものをテキストやWEBで調べて自分の考えをまとめる。(2時間)
参考文献	
第2回	
事前学習	新聞やニュースサイトで国際に関する記事を読み,自分の興味のある問題・課題について調べておく。(2時間)
授業内容	(担当:郷堀)世界が抱える困難な問題とは何だろう?
事後学習	授業で提示・紹介された課題の中で,気になったものについてさらに調べて自分の考えをまとめる。(2時間)
参考文献	
第3回	
事前学習	自分が①興味関心をもつ国,②行ったことのある国,③行きたいと思う国についてそれぞれ情報(人口・民族・宗教・産業・生活・最近のニュース)を集め,興味を持つに至る理由をまとめる。(2時間)
授業内容	(担当:松尾)「世界地図について考える」「自分の文化・他者の文化について考える」 ・南北関係などと世界地図を新たな読み方に挑戦する。 ・国際関係を自分の視点・他者の視点から考える。
事後学習	自分と他者との関係性についてとらえ直し,まとめておく。(2時間)
参考文献	
第4回	
事前学習	日々食べているものを想定し,どこの国・地域から輸入されたか調べておく。(2時間)
授業内容	(担当:郷堀)食糧問題 ・食料に関する現状を知る。 ・食料・農業を取り巻く国際関係・輸出入関係
事後学習	食糧とグローバリゼーションについてとらえ直し,グローバリゼーションにより引き起こされた課題について調べる。(2時間)
参考文献	
第5回	
事前学習	我々が生活で使っている日用生活品は,どの国・地域で作られたのかについて調べておく。(2時間)
授業内容	(担当:松尾)衣食住とグローバリゼーション
事後学習	グローバリゼーションの是非の話ではなく,私たちの日常生活の視点からグローバリゼーションをどのように考えているかについて小レポート①(リアクションペーパー)をまとめる。(4時間)
参考文献	
第6回	
事前学習	なし
授業内容	(担当:郷堀)宗教戦争は世界史の話? —ヨーロッパやイスラエルなどの事例を通して
事後学習	戦争・内線を引き起こす要因・きっかけについて,資料・WEBなどで調べ,自らの考えをまとめる。(2時間)

参考文献	
第7回	
事前学習	戦争・内線を体験した人のルポ・小説などを読んで読後感想をまとめておく。(2時間)
授業内容	(担当:郷堀) テロ・内戦・少年兵 —アフリカ西部などの事例を通して
事後学習	授業で取り上げた戦争・内戦の事例に関する感想も含めて小レポート②(リアクションペーパー)をまとめる。(3時間)
参考文献	
第8回	
事前学習	JICA,WHO(世界保健機関)などのHPや資料で,気になった健康問題の統計や報告書について調べておく。(2時間)
授業内容	(担当:松尾) 保健衛生 —HIV/AIDSなどの健康問題を通して
事後学習	授業で取り上げられた課題のうち,興味のある課題について考え,保健衛生の国際協力のトレンドを調べ自分の考えをまとめる。(2時間)
参考文献	
第9回	
事前学習	なし
授業内容	(担当:郷堀) 保健衛生 その2 —健康問題に取り組む国際貢献の現場を通して
事後学習	国や文化によって身体や健康に関する考え方が異なる中で,保健分野における国際貢献の視点とは何だろうについて小レポート③(リアクションペーパー)をまとめる。(4時間)
参考文献	
第10回	
事前学習	持続可能な開発(Sustainable Development)の方針・概念について調べておく。(2時間)
授業内容	(担当:松尾) 環境問題 —環境保護か?インフラ整備か?事例を通して開発の在り方を考える
事後学習	ほかの国・地域の類似した問題について調べ国連が提唱する「持続可能な開発目標」について自分の考えをまとめる。(2時間)
参考文献	
第11回	
事前学習	地球温暖化について何を知っているか,情報を集めて整理しておく。(2時間)
授業内容	(担当:松尾) 環境問題 その2 —地球温暖化,人類,自然,生態系 ・「ツバルは海に沈む」?
事後学習	「西洋の文化・生活形式の流入によりや生じた社会問題の変化について考える 環境問題として紹介された事例について小レポート④(リアクションペーパー)をまとめる。(2時間)
参考文献	
第12回	
事前学習	なし
授業内容	(担当:郷堀) 貧困・スラム —ブラジルの事例を通して「貧困」と「裕福」について考える
事後学習	「お金で解決できる問題」と貧困について授業で提示された文献を読み読後感想をまとめる。(4時間)
参考文献	
第13回	
事前学習	日本の子供と家族を取り巻く福祉課題について事前に調べておく。(2時間)
授業内容	(担当:郷堀) 子ども>教育・家族・青少年犯罪 —イタリアなどの事例を通して

事後学習	公的な福祉サービスが充実していてもしていなくても子ども・家族を取り巻く福祉の課題は存在する。これに関わる仕事（ソーシャルワーク）について専門職として何が出来るか考える。(2時間)
参考文献	

第14回	
事前学習	なし
授業内容	(担当:郷堀・松尾) 国際貢献活動に携わり,世界各地の現場で活動中の専門家・実践者・ボランティア・活動家等の,スカイプを用いて生中継で体験談を聞く。インタビューを行う
事後学習	「国際貢献」に必要な視座は何か。国際協力に関する文献を読み自らの考えをまとめる(4時間).
参考文献	

第15回	
事前学習	なし
授業内容	(担当:郷堀・松尾) 私たちにできること 国際ソーシャルワーク(社会福祉)の在り方について 各回の内容を振り返って国際貢献・国際関係について再考し,「共生」について考える ・グループディスカッションなどを用いて全体を振り返る
事後学習	講レポートをまとめて,提出する。(4時間)
参考文献	下

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<p><DP-1> 【社会の構成員としての基本的知識・技能・態度】 社会生活で必要となる汎用的技能及び社会の一員として求められる態度や志向性を身に付けているとともに、人類の文化、社会と自然に関する知識について理解している。</p> <p><DP1-(1)> 日本語及び外国語によるコミュニケーション能力を身に付けている。</p> <p><DP1-(2)> 情報通信機器の活用に関する知識・技能を持ち、利用における法令順守の態度を身に付けている。</p> <p><DP1-(3)> 問題を発見し、課題を解決する能力を持ち、立案・実行過程で主体性を持って協働できる態度を身に付けている。</p> <p><DP1-(4)> 人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。</p>
-----------	--